



[アイアール ゲンキ]

光をそそいで 元気を守る新技術

特許取得済

病害抑制

⇒減農薬効果

いちご炭疽病・灰色カビ病・うどんこ病
ブドウべと病・トマト葉カビ病・青枯病
オリーブ炭疽病・バジル黒点病など

生育促進

発根

落果抑制

耐暑性・耐寒性

収量増加

イチゴ(女峰・さぬきひめ)・ミニトマト
ミディトマトなど

軽くてラクラク♪



約350gと軽量なので、片手でも楽に扱えます。持ち運びながらの作業でも手首や腰の負担になりません。

作業が短く少ない



1個体あたり照射は0.2秒。2週間ごとの作業で効果を発揮。短い照射と少ない回数で多様な効果を得られます。

安全な光で安心



太陽光やリモコンにも含まれる安全な光(近赤外光)を照射しています。青果も人も安心して使えます。

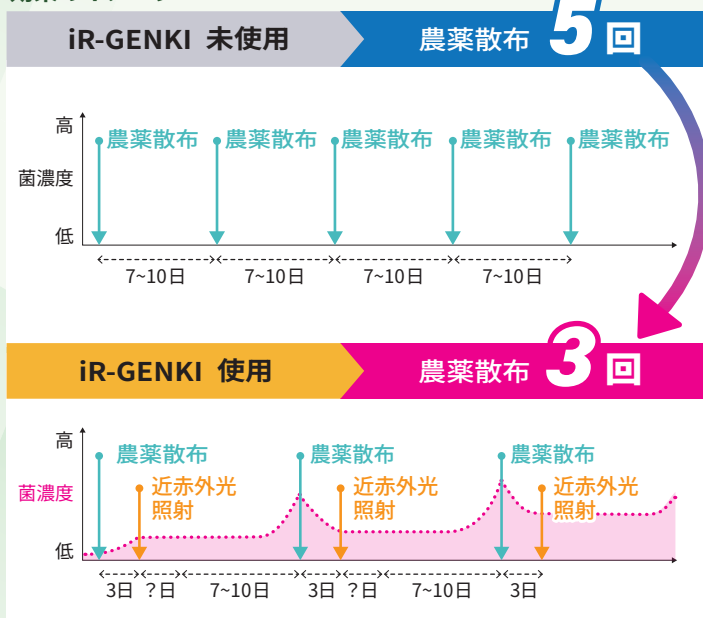
近赤外光は目に見えませんが、ガイド灯で照射位置を分かりやすく示します。

01 // アイアールゲンキ iR-GENKIとは？

植物に光を照射することで、病気の発生や進行を遅らせることができる技術です。

農薬と併用することで、減農薬効果も期待できます。

効果のイメージ



02 // アイアールゲンキ iR-GENKIのメカニズム

植物は、近赤外光にさらされると環境の変化を感じ取り次の変化に迅速に対応できるよう予防体制をとります。その結果、抵抗性の向上・育成促進・増収効果等の様々な効果が得られます。



03 // 製品仕様

サイズ	長さ 648 × 高さ 43 × 幅 40 mm
重さ	約 350g (装置本体)
光出力	最大 1000W/m ²
電源	USB Type-C モバイルバッテリーまたは AC アダプタ ※バッテリーは付属しません



光で育て、光で守る。iR-AGRI Solutions

アイアール ゲンキ iR-GENKI

栽培中の病害防除



近赤外光の照射で病害抑制や収量向上を実現します。
軽量で扱いやすく、1個体0.2秒・2週間に1回の省力運用が可能。
多様な作物に対応し、安全な光で生産現場を支援します。

アイアール フレッシュ iR-Fresh

収穫後の鮮度保持



近赤外光の照射で青果の鮮度保持やカビ抑制を実現します。
葉茎・果菜・果実・切花など、多様な青果物に対応し、全国30拠点以上の選果場・生産施設に導入されています。

四国総合研究所の取り組みと開発への思い

四国総合研究所は、農業離れや労働力不足、化学農薬の使用削減などの課題に取り組んでいます。
農業従事者だけでなく、農作物を作るすべての人が「農」に永続的・持続的に取り組むための手助けとなる技術の開発を行うことで、ホームドクターのような存在になりたいと考えています。
病気の発生は、新規就農者にとって大きな不安要素であり、対策の難しさは農業離れにもつながります。
そこで、光を使った農業技術の研究に取り組み、「iR-GENKI」「iR-Fresh」を開発しました。
私たちは今後も、持続可能な農業を支える新たな技術の創出に、継続して取り組んでまいります。